

平成二十八(二〇一六)年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題(一般選抜)

(科目名) 国際法

次のすべての問いに答えなさい。

一. 自らの法益を直接に侵害されていない国家が、当事国間対世的義務 (*obligations erga omnes partes*) の違反に基づいて国際司法裁判所に訴えを提起した場合、当該国家について原告適格は認められるか。国際司法裁判所の先例に言及しつつ論ぜよ。

二. 国際法による国家管轄権の規律のあり方が「抵触法的規制から実質国際法的規制へと進化してきた」とする見解について論ぜよ。

(以上)